

ユーザーマニュアル

Sparkplug B スタートアップガイド

本マニュアルでは、どのように cMT シリーズで Sparkplug B を設定、及び Ignition で監視する方法について説明します。

V1.00



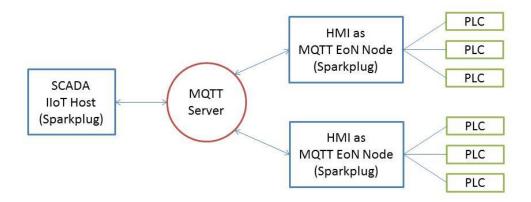
目次

1.	概要	1
	システム要件	
	ソフトウェアダウンロードリンク	
	Ignition をインストールする	
	EasyBuilder プロジェクトを新規作成する	
	Ignition Designer で EoN タグを取得する	
/.	参考リンク一覧	/



1. 概要

Sparkplug B は IIoT 応用の特性に基づいてデザインされた規格です。本規格は標準 MQTT 規格が規制していないトピック及びメッセージ内容を定義するのに役立ち、それに MQTT 未対応の装置でも Edge of Network (HMI)と通じて間接にMQTT 送信ができるようにさせます。



Sparkplug の利点:

- 各種の言語/プラットフォームをサポートします。
- 二進法エンコードで、JSON よりも通信量を節約できます。
- NDATA/DDATA は変動があるデータのみを送信します。

本マニュアルでは、HMI のローカル MQTT サーバーを使用してセットアッププロセスを説明します。

2. システム要件

ソフトウェアバージョン: EasyBuilder Pro V6.1.1 以降のバージョン

対応機種:cMT シリーズ HMI

3. ソフトウェアダウンロードリンク

Ignition: https://inductiveautomation.com/downloads/ignition

MQTT Modules:

https://inductiveautomation.com/pricing/ignition/third-party-modules



4. Ignition をインストールする

- 1. Ignition Installer を実行します。
- 2. インストール過程で、Platform Edition に Ignition を選択し、Installation Mode に Typical を選択します。
- 3. インストール完了後、Ignition のウェブページが自動的に開かれます。或い はブラウザで localhost:8088 を入力しても良いです。
- 4. ウェブページ内の[Configuration section]を選択して Ignition Gateway に入ります。或いはブラウザで localhost:8088/main/web/config を入力しても良いです。



Congratulations, Ignition is installed and running!

Whether you need an OPC-UA server, a SQL datalogger, an HMI, or a full-blown SCADA or MES solution, Ignition can handle it. Here are a few common steps to help get you started:

1 Login to the configuration section.

The default username and password are: admin / password

Change the password or configure your own authentication profile in the Security > Authentication Section

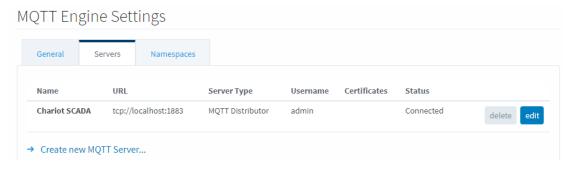
- 5. Ignition Gateway のデフォルトユーザー名/パスワードは admin/password です。
- 6. 左側のツールバーで[SYSTEM] » [Modules]を選択してから、ウェブページの 最下部で[Install or Upgrade a Module]を選択します。

→ Install or Upgrade a Module...

7. [Choose File]をクリックします。MQTT Engine Module を追加します。追加に成功したら、Cirrus Link Solutions では Module の関連情報が見られます。

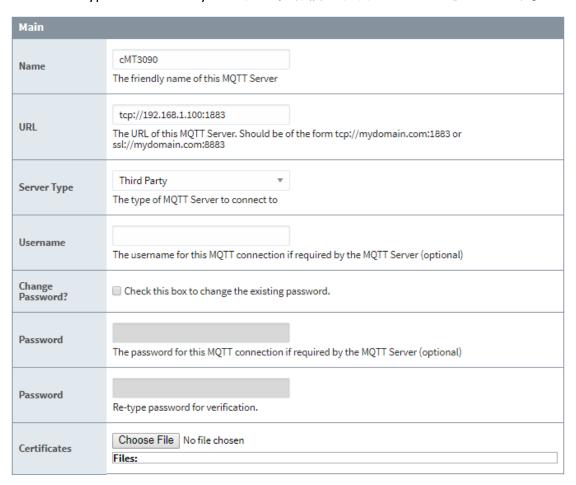


8. 左側のツールバーで[MQTT ENGINE] » [Settings]を選択します。 [Servers]タブをクリックし、» [Create a new MQTT Server]を選択します。

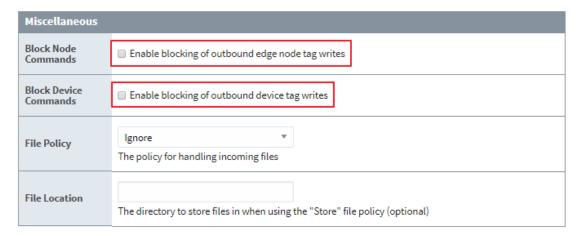




9. Server Type で Third Party を選択し、各欄の説明に基づいて設定します。



10. Ignition Designer 書き込み機能を有効にしたい場合、Miscellaneous 欄で [Enable blocking of outbound edge node tag writes]及び[Enable blocking of outbound device tag writes]のチェックを外します。

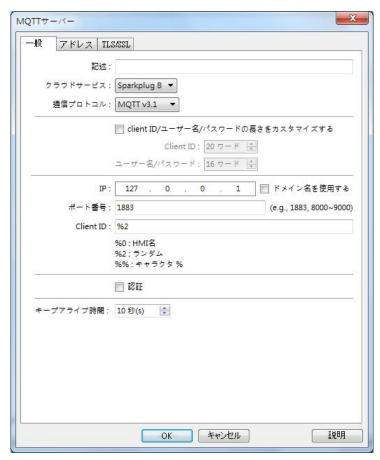


11. 前のステップを完成したら、Ignition Gateway の設定が完了されました。



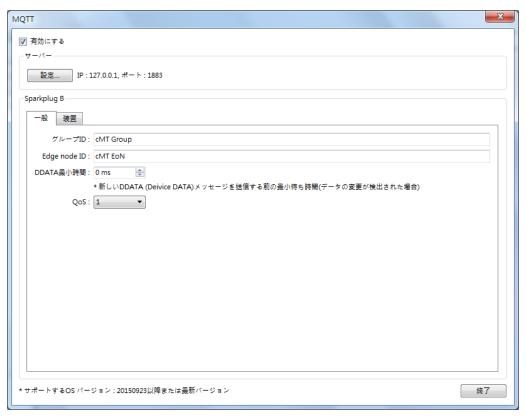
5. EasyBuilder プロジェクトを新規作成する

- 1. cMT プロジェクトを新規作成します。[lloT/エネルギー管理]設定ページで [MQTT]を選択します。
- 2. [クラウドサービス]欄で[Sparkplug B]を選択します。HMI ローカルを MQTT サーバーとして使用し、IP を 127.0.0.1 に、ポート番号を 1883 に設定します。アカウントとパスワードの認証を使用する場合、[認証]にチェックを入れてください。

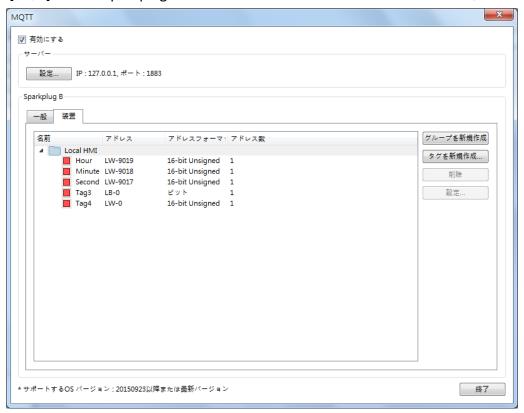


3. [一般的な属性]設定タブで[グループ ID]及び[Edge node ID]を設定します。





4. [装置]タブで Sparkplug B の読み取り可能なタグを数個作成します。

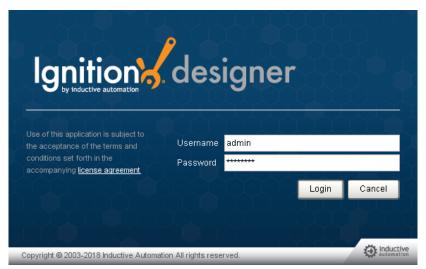


5. 本プロジェクトを HMI にダウンロードします。

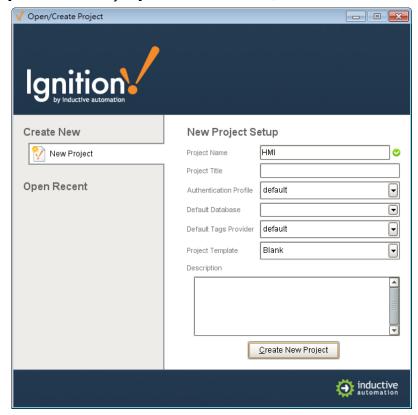


6. Ignition Designer で EoN タグを取得する

- 1. Ignition Gateway ウェブページで右上隅の[Launch Designer]をクリックし、, designer.jnlp ファイルがダウンロードされます。
- 2. ダウンロード完了後、designer.jnlp を実行します。
- **3.** Ignition Designer のデフォルトユーザー名/パスワードは admin/password です。

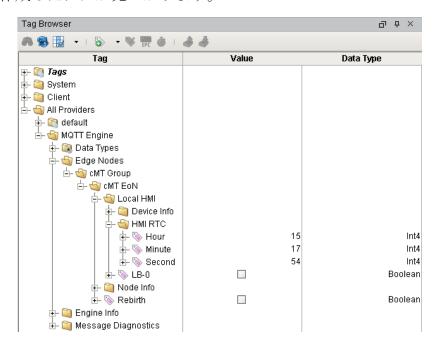


4. プロジェクトを新規作成します。[Project Name]でプロジェクト名を入力してから[Create New Project]をクリックします。





5. 接続に成功したら、Tag Browser の[All Providers] » [MQTT Engine] » [cMT Group] (Group ID) » [cMT EoN] (Edge node ID)で先ほど EasyBuilder プロジェクトで作成したタグが見つかります。



7. 参考リンク一覧

- Cirrus Link Documentation: https://docs.chariot.io/display/CLD/Cirrus+Link+Documentation
- 2. Ignition User Manual: https://docs.inductiveautomation.com/display/DOC79/Ignition+User+Manual